



ラポール盛岡

〈123号〉
ニュース

発行 協同組合盛岡卸センター
岩手県紫波郡矢巾町流通センター南一丁目2番15号
TEL 019-638-1111(代) FAX 019-638-4532
URL <http://www.morioka-oroshi.jp/>

2014年1月1日



年頭のあいさつ

理事長 松田博之

新年明けましておめでとうございます。
組合員並びに賛助会員の皆様方には、新たな気持ちで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」を背景に円安進行を受け、自動車など輸出企業が国内経済を牽引してきました。反面、ガソリン価格の高止まりや食品の値上がりなどで家計を圧迫する要因もなりました。また、TPP交渉会議に正式に参加し協議を重ねて参りましたが、難航分野で各国の主張の隔たりが大きく年内妥結には至りませんでした。更に、四月から消費税率を8%へ引き上げることが決定し、財政再建への一歩を踏み出しました。

夏の参院選は、与党が圧勝し「ねじれ国会」は解消され、年末に特定秘密保護法が成立いたしました。

震災から二年が経過した県内は、インフラ復興が本格化する中、技術者や建設資材の不足などで「人材不調」が相次ぎ、今後も懸念されることとあります。震災の影響で一時は中止も取りざたされた2016希望郷いわて団体の開催が決定し、県勢の活躍を期待するところであります。

また、ILCの候補地は、研究者で組織するILC立地評価会議が北上山地を選定したことを受け、被災地支援と若人に夢と希望を持たせるため、本県への誘致実現に向け関係機関の継続的な啓蒙活動を要望いたします。

当組合では、不動産に関する引き合いが多くなってきており六件の売買が承認され、団地内にコンビニエンスストアが初出店いたしました。更に、盛岡西バイパスが盛岡南IC近くに接続となり、流通センターへのアクセスも改善されたことから、今後も卸団地への企業の進出に期待するところであります。

新規事業として開始したリサイクル事業は一年が経過し、三十八社、四十一施設でご協力いただいております。本事業はゴミの減量と再生資源の活用に寄与することから多数のご参加をお願いいたします。福利厚生事業としての物販は、参加予定の組合員の方々と事業内容について協議を行っておりますので、早期に実施できるようにいたします。

当組合は、卸団地制度創設五十周年記念事業で、経済産業大臣表彰を受賞いたしました。これを機に、今後も団地の活性化と組合財政基盤の強化に鋭意努力して参りますので、組合員を始め関係各位のご支援をお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

理事会結果報告

第八回理事会（十一月十三日開催）

一、報告事項

(1) 盛岡物流センター事業報告

十月の取扱い物量は一万五千七百五十六ケース、収入合計七百十万円、支出合計七百四十七万一千円と報告。

(2) 卸団地制度（店舗等集団化制度）創設五十周年事業に係る表彰について

(3) 組合収支報告（九月末仮決算）

九月末試算表を基に中間決算書を作成したのでその収支状況を報告。

貸借対照表の流動資産は八億九千九百九十九円である。前年同期比で三億四百九十九円減少している。主な要因は金融事業の縮小に伴う長短転貸貸付金二億九千八百九十九円の減少によるもの。固定資産は二十四億四千七百九十九円。半期分の減価償却をみている。資産合計は三十三億三千八百九十九円である。

流動負債は十二億九千九百九十九円であり、前年同期比で三億一千九百九十九円減少している。主な要因は資産同様金融事業縮小に係る転貸借入金金の減少である。固定負債は十一億四千九百九十九円であり、前年同期比三千九百九十九円減少。これは長期借入金の約定返済によるものである。その結果、純資産は九億九百九十九円となっている。

損益計算書の共同事業収入合計が四億六百万円であり、前年同期比一千九百九十九円増加。主な要因は共同給油事業収入の一千九百九十九円増加である。これは仕入単価の上昇に伴うもので、事業費も同様に増加している。

物流センター事業収入は利用単価を改定したことや保管料が増加したことにより前年同期比三百九十九円増加している。

共同事業費合計は四億九百九十九円であり、事業収支差益（粗利益）は五百九十九円と前年同期比三百九十九円増加となっている。

賦課金収入、事業外収入を合わせた総収入は四億三千七百九十九円となっている。

一般管理費は二千九百九十九円であり、前年同期比六十万円増加している。

減価償却費は関係する各事業に年間減価償却予算の二分の一、合計で一千六百九十九万円を計上している。事業外費用を合わせた費用合計は四億二千九百九十九円である。その結果、九月末現在中間決算時点での当期利益は前年同期比三百九十九万円プラスの一千九百九十九円となっている。

(4) リサイクル事業 平成二十五年上期実績報告

今年度上期は、参加企業数三十六社、三十九施設で実施した。リサイクル品目（段ボール、新聞、雑誌、ペットボトル、アルミ缶、スチール缶）の収集実績は六品目合計三万五千三百四十一キロで、参加企業に対して一キロ当たり三円の還元を行ったことを報告。

(5) 盛岡卸センター桐華会設立三十周年記念講演会及び交歓会について

次回理事会は十二月二十五日（水）午後五時からホテルメトロポリタン盛岡本館で開催する。

二、提出議案

第一号 平成二十六年新春セミナー及び新年交歓会の開催について

平成二十六年新春セミナー及び新年交歓会の詳細について承認された。

第九回理事会（十二月二十五日開催）

一、報告事項

(1) 盛岡物流センター事業報告

十一月の取扱い物量は一万三千九百二十七ケース、収入合計六百五十四万三千円、支出合計七百五十万三千円と報告。

(2) 物流センター高度化資金連帯保証人の変更契約について

五月の組合通常総会における組合役員の変更が行われた事による、物流センター高

度化資金連帯保証人の変更契約を十一月二十六日に締結したことを報告。

(3) 盛岡法人会流通センター支部の役員改選について

十二月三日、公益社団法人盛岡法人会流通センター支部の平成二十五年通常総会が開催された。総会において任期満了に伴う役員改選議案が諮られ、(株)藤村商会代表取締役社長藤村文昭氏（協盛岡卸センター副理事長）が新支部長に選任され就任したことを報告。

(4) 平成二十六年新春セミナー及び新年交歓会の開催について

平成二十六年新春セミナー及び新年交歓会の開催案内を招待者及び組合員等に送付したことを報告。

(5) 組合会館屋上防水工事の進捗状況について

組合会館の屋上防水工事が十二月二十一日（土）に完了したことを報告。

(6) 株木下の破産手続開始について

(株)木下（第五部会所属）は平成二十五年三月に経営が破綻し法的整理の準備を進めていたが、十一月二十八日に破産手続を開始したことを報告。

(7) 盛岡物流センター利用業者の(株)高義運送の破産申立について

盛岡物流センター利用業者の(株)高義運送が十一月二十九日付の民事再生申立てを断念し、法的整理の準備に入ったことを報告。

(8) その他

(株)明治（第二部会所属）が十一月三十日を以てセンター内から撤退したことを報告。

二、提出議案

第一号 中小企業高度化資金承認申請（物流センター目的外利用）の提出について

物流センター用地を駐車場として賃貸することは、目的外利用であることから岩手県に対して使途変更申請を行うことが承認された。

第二号 組合員施設の譲渡及び譲受人の組合加入について

盛岡いすゞモーター(株)（第四部会所属）の施設及び組合出資持分をマルエス工業(株)に譲渡することが承認された。

第三号 組合員施設の譲渡及び譲受人の組合加入について

小田島商事(株)（第六部会所属）の施設及び組合出資持分を(株)田中空調に譲渡することが承認された。

第四号 施設賃借組合員の脱退について

(株)坂本屋（第五部会所属）が平成二十六年三月三十一日を以て組合を脱退することが承認された。

卸団地制度創設五十周年記念式典開催

十月三十一日（木）東京のホテルニューオータニにおいて全国卸商業団地協同組合連合会主催による卸団地制度（店舗等集団化制度）創設五十周年式典が開催され、当組合から松田博之理事長が出席した。

式典では、多年にわたり集団化事業の発展、卸団地組合の振興に貢献したとして当組合が経済産業大臣表彰され、受賞した十六組合を代表して松田理事長が壇上で受け取った。



また、個人の部では松田理事長が中小企業庁長官表彰を受賞し、池野和夫前理事長には商団連感謝状が贈られた。

「2013岩手流通センター活き活き祭」開催

十月六日(日)盛岡地区勤労者共同福祉センター大ホールを主会場に、今回で四回目となる「岩手流通センター活き活き祭」を開催した。

この祭は、岩手流通センター内企業・団体と周辺企業等で組織する岩手流通センター活性化委員会の主催で、当組合も積極的に協力した。

祭には、岩手流通センター内企業を中心に四十七社の出店があり、多種多様な商品が格安で販売された。また、天候にも恵まれた野外ステージでは幼稚園・保育園の園児による演技や民謡ショー、バンドによるライブなどが行われ、来場者は昨年を上回る七千二百人となり、子供から大人までたくさんの人で賑わった。



今回も、東日本大震災の復興支援を共通のテーマに、協賛商品の売上金全額、IBC岩手放送を通じて義援金とした。



部会・経研・桐華会

「第二部会（繊維部会）定例会」の開催



十一月六日(水)盛岡市内において五社八名の参加により定例会と企画委員会との合同会議を開催した。

会議では、平成二十六年の催事カレンダーの内容決定や共同売出しDM名簿の加除と代表者変更等を再確認することと平成二十六年新春初売りは一月六日(月)に開催することが決定した。

「第二・三・五部会合同忘年会」の開催



十一月二十九日(金)盛岡市内において第二部会(食料品)・第三部会(建設資材・設備)・第五部会(雑貨・事務用品・家具・ギフト)の合同忘年会を四十二名の参加により開催した。

今回で十一回を数える合同忘年会は、恒例行事として定着し異業種間の交流ができる貴重な場となっている。

「第四部会（機械・器具）秋季懇親会」の開催

十一月二十二日(金)盛岡市内において秋季懇親会を開催した。

例年通り組合会館(ラポール盛岡)に同居している各銀行の支店長を招き、十四社三十名の参加であった。

毎年恒例の懇親会で、震災関連の復興状況や景気動向等の情報交換を図り、有意義な会合となった。



**第十五回卸団地従業員
親睦ホウリング大会開催**

十一月十四日(木)ビッグハウス・スーパールーンにおいて開催した。
(参加数11社 17チーム 68名)

〈団体戦〉

- 優勝 流通商事(株) A
- 準優勝 流通商事(株) B
- 第三位 (株)岩手セキノ興産

〈個人戦 男子〉

- 優勝 佐藤 広和 (流通商事(株))
- 準優勝 藤原 一 (流通商事(株))
- 第三位 伊藤 優治 (株)平金商店

〈個人戦 女子〉

- 優勝 天麻 由恵 (丸幸商事(株))
- 準優勝 松村 純子 (株)山星屋
- 第三位 工藤 香純 (丸幸商事(株))



**「桐華会設立三十周年記念
講演会・交歓会」の開催**



十一月八日(金)盛岡市内において桐華会設立三十周年記念講演会と交歓会を開催した。

IBCアナウンス学院長の河辺邦博氏を講師に迎え、「目で話す」と題して講演会を行った。

講演では東日本大震災時に報道関係者としての体験談や対人関係において目の役割が如何に重要か等分かりやすく、聞きやすい話し方で参加者は皆聞き入っていた。

引き続き行われた交歓会では桐華会の三十年の足跡を振り返りながら、和やかな時間を過ごした。

**「経営研究会
十二月例会」の開催**

十一月二十五日(月)盛岡市内において経営研究会十一月例会を開催した。

今回は、大和証券(株)盛岡支店長の西田直貴氏を講師に迎え、「今後の日本経済の展望」と題して講演会を行った。

今後の内外株式市場の見通しや国内不動産市場を取り巻く環境は近年稀に見る好条件、東京オリンピック開催に向けた再開など夢が広がるニュースフロアについて講演された。

引き続き行われた忘年会を兼ねた懇親会では、会員間の交流が持たれ親睦を深めた。



**「桐華会十二月例会
(忘年会)」開催**



十一月二十六日(火)盛岡市内において会員十名の参加で今年最後の例会を開催した。

はじめに、大志田会長から桐華会三十周年記念式典を無事終えることが出来たのは、会員の協力の賜物で大変嬉しいこととであり、感謝の気持ちでいっぱいとの挨拶があった。

懇親会に入り、この一年はとても充実した活動が出来たことに皆納得し、来年も引き続き元気に活動することを誓い終了した。



「団地内秋の二斉清掃」を実施

十一月七日(木)流通センター内秋の一斉清掃を実施した。当日は、小雨だったため清掃は各社の判断に委ね、ゴミの回収は翌日午後から行った。

環境整備委員会の巡回では、年々清掃状況が良好になってきていると感じられた。各社の環境に対する意識の高まりと、委員会が継続して啓蒙活動を行っている結果であると思われる。

清掃状況が思わしくなかった組合員へは速やかに対処するよう通知した。



生活習慣病予防健診(けんぽ健診)・がん検診実施

十一月十二日(火)～十四日(木)矢巾勤労者共同福祉センターにおいて生活習慣病予防健診(けんぽ健診)及びがん検診を実施した。三日間の受診者数は三百二十九名であった。

けんぽ健診は、春の一般健康診断よりも検査内容が充実し、けんぽからの助成制度もあるので、協会けんぽに加入している三十五歳以上の方は秋のけんぽ健診をお勧めしたい。

国道46号線西バイパス 全線開通



国道四十六号線盛岡西バイパスは昭和五十九年事業開始以来二十九年を経て、最後の未整備区間であった飯岡新田―永井区間が十二月二十一日に完成し供用開始となり、全線開通した。

このことにより、流通センターから盛

岡中心市街地へのアクセスが格段に改善され、交通渋滞の緩和や物流の効率化が期待される。

行事予定

- 〔1月〕
- 6日(月) 矢巾町新春の集い (矢巾町)
- 9日(木) 第1部会(繊維部会) 例会
- 岩手経済同友会新年交歓会 (市内)
- 15日(水) 岩手流通センター活性化委員会及び委員、出店者等交流会 (福祉センター)
- 16日(木) 全国卸商業団地協同組合連合会 役員会・賀詞交歓会 (東京)
- 17日(金) 第4部会新年会 (市内)
- 18日(土) 第1部会(靴部会) 新年会 (市内)
- 21日(火) 高崎卸商社街協竣工式典 (高崎)
- 24日(金) 組合新春セミナー・新年交歓会 (市内)
- 29日(水) 盛岡地域雇用開発協会役員会 (市内)
- 〔2月〕
- 7日(金) 岩手県中小企業団体中央会 組合代表者会議 (市内)
- 12日(水) 経営研究会 2月例会(市内) 第4部会ボウリング大会
- 13日(木) 東北卸商業団地連絡協議会 事務局職員研修会 (仙台)
- 19日(水) 第10回理事会
- 20日(木) 株式会社ソフトウェアセンター 取締役会 (市内)
- 21日(金) 全国卸商業団地厚生年金基金 代議員会 (東京)

組合員異動情報

(敬称略)

- *団地内責任者変更*
- ▽佐藤製線販売(株) 盛岡営業所(第3部会) 所長 加藤 治 (前所長 高橋克則)
- *組合脱退*
- ▽三菱食品(株) (第2部会)
- ▽菊の司酒造(株) (第2部会)

ラポール盛岡 1Fロビー催事予定

	催事内容	開催日
1月	乾物・珍味販売	9 16 23 30
	婦人服販売	14 15 27 28 29
	たい焼・たこ焼販売	10 16 24 31
2月	菓子販売	31
	乾物・珍味販売	6 13 20 27
	婦人服販売	3 4 5 24 25 26
	たい焼・たこ焼販売	13 18 25 28
	菓子販売	28

*都合により追加・変更になる場合があります。

お菓子特売日のお知らせ

- 日時
- 1月15日(水) 10:00~15:30
- 2月20日(木) 10:00~15:30
- 場所
- 矢巾勤労者共同福祉センター
- ※都合により変更になる場合があります。

リサイクル事業 をご利用ください。

このリサイクル事業は、協同組合盛岡卸センターと環境整備委員会が協力して、流通センター内企業の皆さんと一緒に取り組むリサイクル活動です。

リサイクル品目は、

- ①ダンボール
- ②新聞紙
- ③雑誌・一般紙
- ④ペットボトル
- ⑤アルミ缶
- ⑥スチール缶

以上6品目となります。



●リサイクル事業の詳細と申込み方法は、盛岡卸センター ホームページ サイドメニューの「各種様式ダウンロード」から印刷できます。

URL <http://www.morioka-oroshi.jp/>

平成26年新春セミナー・ 新年交歓会のお知らせ

恒例の新春セミナー並びに新年交歓会を下記により開催いたします。皆様多数のご参加をお願い申し上げます。

記

- 日 時：平成26年1月24日(金) 午後4時
- 場 所：「ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING」
盛岡市盛岡駅前北通 2-27 TEL：625-1211
- 講 師：岩手県商工労働観光部 副部長 桐田教男氏
- 演 題：「産業創造県いわて」の実現に向けて

※セミナー終了後、新年交歓会を開催

除雪にご協力を!!

路上駐車は、除雪作業の

妨げになります。

絶対にやめましょう

流通センター内 雪捨場のご案内

《指定雪捨場所》

1. 広宮沢公園野球場隣駐車場
2. 鹿妻公園ソフトボール場隣駐車場

雪捨場所、除雪(市町道)に関するお問い合わせは、

盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合
TEL: 019-638-6025

日本の明日へ 中小企業とともに。



話せるパートナー
商工中金です。

新型定期預金

マイハーベスト

● 有利な金利設定

※当金庫内の商品と比較した場合

● 固定金利の半年複利

● 1年、2年、3年から
期間が選べる

●詳しくは店頭のチラシまたはホームページをご覧ください

盛岡支店

〒020-0021

盛岡市中央通 3-4-6

TEL 019-622-4185

人を思う。未来を思う。
商工中金